

会議名		第2回学校運営協議会 議事録	
場 所	大阪府立すながわ高等支援学校4階 校長室		
日 時	令和7年 11 月 21 日（金） 10：00～12：00		
目 的	学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。		
次 第	<p>（１） 校長あいさつ 授業、学校説明会見学</p> <p>（２） 協議及び報告</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学校経営計画の進捗状況について・ 学校の防災および避難訓練について・ R7 就労に関するアンケート結果 （入社3年め）・ R7 前期 卒業生アフターケアについて・ 進路だより 第2号・ R7 すながわ高等支援学校広報活動・ R7 学校教育自己診断の様式について・ 教員の働き方改革について <p>（３） 意見交換 まとめ</p> <p>（４） 校長挨拶</p>		
学校運営協議会	会 長	四天王寺大学教育学部教育学科教授	土口 千恵子 様
	副会長	株式会社カネシン オートボックス	辻 昭宏 様
	委 員	泉州中障害者就業・生活支援センター	斉喜 祐輔 様
	委 員	株式会社サクセス 自立支援推進室長	河本 妙子 様
	委 員	泉南市 行政経営部 危機管理課	小原 成裕 様
	委 員	すながわ高等支援学校PTA会長	二家本 英生 様
	校 長	すながわ高等支援学校校長	加納 由朗
		すながわ高等支援学校事務局	9 名

会 議 内 容

要約 令和7年度学校経営計画の進捗状況について確認されたこと及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- 令和7年度学校経営計画の進捗状況では、概ね計画通り進んでおり、次年度に向けては働き方改革に向けての数値を盛り込む必要があるとの報告があった。次回の第3回では、それも踏まえた内容のものを見ていただく予定である。また、高等支援学校の魅力化動画の紹介や姉妹校提携の取り組みについて報告があった。
- 防災および避難訓練では、今年度の取り組み内容について報告があった。委員の方より、地震発生時、堅固な建物にいる場合は、必ずしも外に避難する必要はないこと、基本的には在宅避難であるので、最低3日間家で過ごせるよう備蓄等の準備をすることが大切であるとのこと意見をいただいた。（火災や津波、土砂崩れは避難が必要）また、他校では年に複数回訓練を行う中で1回は教員も生徒も何も知らない中で実施しているので、日時等を知らせずに実施する訓練もあってはどうかとご意見いただいた。
- 進路についての取り組みでは、就労に関するアンケートやアフターケア、進路だよりについて報告があった。進路だよりでは、コロナ禍以降、仕事への取組み姿勢が随分変わってきており、毎日出勤して働くことの大切さについて課題が多くあるとの説明があった。委員の方より、就・への引継ぎについても課題があり、今後学校とより連携を深めて引継ぎ方法を考えていく必要があるとご意見をいただいた。また、本人の意向とご家庭の意向を踏まえて、生活しながら働き続ける難しさについても話題に上がった。
- 広報活動については、今年度は地域の支援教育部会等に参加し、学校説明を行ったと報告があった。卒業生の活躍も知ること知能障がいのある生徒がどのようなキャリアを積んで成長していくのかイメージしやすいのではないかとご意見をいただいた。
- 学校教育自己診断については、様式の変更はないが保護者の回収率を上げるために実施を前倒しに行うと報告があった。
- 教員の働き方改革については、学校と教師の業務の3分類（文科省の資料）や東京都の教職員向けカスハラ対応策の資料をもとに学校としての対応を検討していくとの説明があった。次回の第3回で意見をいただく予定。

次回開催日 令和8年1月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 槿原 千鶴 （令和7年12月1日作成）